



写真は市役所前を出発する佐藤 功君

若い 群像

「僕の一生にとって、絶対に忘れることのできない行事ですね。」と語るのは、佐藤 功君。

さる1月23日、留萌に到着した《札幌オリンピック聖火》は、25日午前9時、札幌へと一路旅出った。

この聖火の市役所から第4引継点（道銀前）までの正走者をつとめたのが佐藤君（留萌高校3年生）です

「原田市長から手渡されたトーチが自分の手に握られたときは、ほんとうに緊張しました。私たちの北海道で、世界の雪の祭典が開かれるのですし、名誉ある走者に選ばれ、私も一助を任ったと思うと……よい高校生活の思い出にもなりますね。」と語る。

将来を担う佐藤君ら52人の若人は、聖火を送りながら大任を果たした感激を胸に深く刻んでいた。

広報

るとい

'72
2月号
第167号